

活水論文集 看護学部編 第9集の発刊に寄せて

活水女子大学看護学部長 野口 静子

2022年度は、小児看護学領域の実践報告が1編ではありますが、活水論文集 看護学部編 第9集を発刊することができました。貴重な論文を投稿してくださった筆者の皆様、活水論文集 看護学部編の発刊に当たり、ご尽力くださいました図書学術委員、査読委員、編集委員の先生方に深く感謝いたします。

COVID-19感染拡大の影響により、臨地実習の中止が相次ぎ、多くの教育機関ではオンラインやシミュレーション教育などによる代替補完実習が行われています

当学部もコロナ禍で学内実習を余儀なくされることになりましたが、実践力のある看護師養成を継続する上では大きな課題です。卒業時到達目標は臨床判断の実践であることを理解し、シミュレーション教育導入においては、学生の学びを保証できる教育内容の見直しと、事例設定等の教育計画の再構築や指導方法の工夫など検討が必要です。今年度は小児看護学実習の代替実習にシミュレーション教育を活用した貴重な取り組みをまとめていただきました。学内実習だからこそ学べる内容を検討して看護基礎教育を考える機会ともなりました。

コロナ禍の3年間様々な困難に対峙し、当学では特に限られた人的資源の中で職員が一体となって取り組んできました。この経験での知恵は今後の看護教育の発展の糧になるものと信じます。

今後とも、看護学部の研究成果がより多く発表できますよう努めますとともに、皆様のご指導ならびにご支援を賜りますようお願いいたします。